

追悼 中尾寛子教授

---



故 中尾 寛子 教授

1958年4月8日 岡山県岡山市に生まれる

2007年2月6日 ご逝去

(学歴)

1977年 3月 岡山県立岡山芳泉高等学校 卒業

1977年 4月 東京大学理科 類 入学

1981年 3月 東京大学医学部保健学科 卒業

1981年 4月 東京大学大学院医学系研究科保健学専攻修士課程 入学

1983年 3月 同 上 修了

1989年 4月 保健学博士(東京大学) 取得

1995年 4月 佛教大学社会学部社会福祉学科(通信教育課程) 3年次編入学

2000年 3月 同 上 卒業

(職歴)

1983年 5月 帝京大学医学部助手(衛生学教室)(1987年3月まで)

1988年 8月 岡山大学医学部助手(衛生学教室)(1990年10月まで)

2001年 4月 吉備国際大学社会福祉部助教授(福祉ボランティア学科)  
(2005年9月まで)

2005年 10月 島根大学法文学部助教授

2007年 1月 島根大学法文学部教授

## 【研究業績】

．社会福祉学および近接領域論文

(単著または共著<第一著者>)

- 1 . 「保育園児の食物摂取行動の直接観察」(共著), 『日本栄養・食糧学会誌』第 36 巻 1 号, 1983 年
- 2 . "Birth seasonality of breast cancer patients and its variation according to menopausal status and histologic type in Japan"(単著), *European Journal of Cancer and Clinical Oncology*, vol.22, No.9, 1986
- 3 . "Cancer and season of birth - analysis of personal history in breast cancer"(共著), *Progress in Biometeorology*, vol.6, 1987
- 4 . "Season of birth of breast cancer patients and its relation to patients' reproductive history in Tokyo, Japan"(単著), *Acta Medica Okayama*, vol.42, No.4, 1988
- 5 . 「第一位萌出永久歯の変化に関連した顔面頭蓋計測値と乳歯のう触状態」(共著), 『民族衛生』第 54 巻 5 号, 1988 年
- 6 . 「幼稚園児にみられた永久歯萌出順序の変化と乳児期の栄養方法及び現在の嗜好との関連性について」(共著), 『民族衛生』第 55 巻 4 号, 1989 年
- 7 . "Development of eating behavior and its relation to physical growth in normal weight preschool children"(共著), *Appetite*, vl.14, No.1, 1990
- 8 . 「高梁市における『手づくり遊び教室』に参加した児童の日常の遊びの状況と教室への参加回数との関連について」(共著), 『吉備国際大学社会福祉学部研究紀要』第 7 巻, 2002 年
- 9 . 「在宅ひとり暮らし要支援・要介護高齢者の閉じこもりの傾向と独居年数との関連」(共著), 『吉備国際大学社会福祉学部研究紀要』第 4 巻, 2003 年
- 10 . 「卒業生の評価からみた高齢者福祉領域・社会福祉援助技術現場実習の内容の検討 - ソーシャル・ワークとケア・ワークに従事する卒業生の評価の相違から - 」(共著), 『最新社会福祉学研究』第 1 巻, 2006 年
- 11 . 「訪問介護サービスを利用している独居高齢者の主観的健康感に影響する社会関係要因とその独居年数による相違」(共著), 『厚生指標』, 2006 年

(共著<第二以降の著者>)

- 1 . 「老人福祉領域における学生の社会福祉士実習の満足度に関する研究 - 満足群・非満足群の比較 - 」(共著), 『吉備国際大学社会福祉学部研究紀要』第 8 巻, 2003 年
- 2 . 「インド西部地震からの復興と住民の生活の質 - N G O の活動から - 」(共著), 『吉備交際大学社会福祉学部研究紀要』第 8 巻, 2003 年
- 3 . 「社会福祉援助技術現場実習前後の意識変化 - 高齢者福祉領域で実習を終えた学生を対象としたアンケート調査 - 」(共著), 『吉備国際大学社会福祉学部研究紀

## 追悼 中尾寛子教授

要』第9巻,2004年

4. 「高齢者福祉領域における社会福祉援助技術現場実習の現状 - 全国調査と比較を中心として - 」(共著),『吉備国際大学社会福祉学部研究紀要』第10巻,2005年
5. 「高齢者福祉領域における社会福祉援助技術現場実習の内容と学び - 学生調査と施設調査の比較 - 」(共著),『吉備国際大学保健福祉研究所研究紀要』第6巻,2005年

### . 報告書等

1. 「健康なまちづくりへの取り組み『福祉協力員の役割について、その活動と課題(川津地区)』」(単著),松江市福祉部健康推進課『特別事業「健康なまちづくり」報告書』vol.4,1999年
2. 『自閉症児者の支援・エンパワメントのためのワークショップ報告書』(共著),NPO法人療育センター燦々,2002年
3. 『社会福祉・医療事業団助成事業「自閉症児・者及び家族の支援・エンパワメントの促進事業 平成14年度報告書」』(共著),NPO法人療育センター燦々,2003年
4. 『老人福祉領域における現場実習のあり方(1)』(共著),吉備国際大学社会福祉学部内実習委員会(老人福祉グループ),2003年
5. 『高齢者福祉領域における現場実習のあり方(2)』(共著),吉備国際大学社会福祉学部内実習委員会(高齢者福祉グループ),2004年
6. 『高齢者福祉領域における現場実習のあり方(3)』(共著),吉備国際大学社会福祉学部内実習委員会(高齢者福祉グループ),2005年
7. 「知的障害者グループホームにおける『関係支援』事例調査報告」(共著),『島根大学社会福祉論集』創刊号,2007年

### . その他

#### (他領域著書)

1. 『生まれ月の科学』(共著),篠原出版,1983年

#### (他領域訳書)

1. 『改訂 職場におけるストレス - その原因と影響と予防法』(共訳),L. Levi 著,健康体力づくり事業財団,1990年

#### (他領域論文)

1. 「日本人中高年婦人は肥満しているか」(共著),『医学のあゆみ』第11号,1984年
2. 「勤労者のストレスの認識に関する調査(共著) - ストレス原因の存在箇所の認識と状態や反応に関する認識の関連とその類型 - 」(共著),『日本衛生学会雑誌』第46巻2号,1991年
3. 「長時間残業と蓄積疲労兆候について - 某大手企業の設計職種の長時間残業と健康問題 - 」(共著),『労働と休養の科学』第6巻1号,1991年
4. 「ベネフィット構造分析法による住宅の住み心地の調査研究」(共著),『木材学

会誌』第40巻7号,1994年

5. 「住宅の居住快適性に関する調査研究(上)」(中国語論文・共著),『室内(中国建築学会)』,1996年
6. 「住宅の居住快適性に関する調査研究(下)」(中国語論文・共著),『室内(中国建築学会)』,1996年

(口頭発表)

1. 「ボリビア国の高地と低地に居住する日本人の再生産」(共同発表者),第52回日本衛生学会総会,1982年
2. 「直接観察法による保育園児の給食摂食行動の分析」(筆頭発表者),第36回日本栄養・食糧学会総会,1982年
3. 「幼児の食物栄養摂取行動の発達について」(筆頭発表者),第53回日本衛生学会総会,1983年
4. 「保育園児の食物摂取行動と体格」(筆頭発表者),第37回日本栄養・食糧学会総会,1983年
5. 「園児にみる永久歯萌出順序と身体諸特性について」(筆頭発表者),第54回日本衛生学会総会,1983年
6. 「子どもの栄養摂取について - 調査方法の検討と摂取水準」(共同発表者),第38回日本栄養・食糧学会総会,1984年
7. 「永久歯萌出型と乳幼児栄養および食物嗜好との関連性について」(共同発表者),第43回日本公衆衛生学会総会,1984年
8. 「乳がん患者の出生季節について」(筆頭発表者),第55回日本衛生学会総会,1985年
9. 「乳児の歯の発育と関連要因の生月による比較」(共同発表者),第55回日本衛生学会総会,1985年
10. 「病理組織型と閉経状態ごとにみた乳がん患者の出生季節」(筆頭発表者),第44回日本公衆衛生学会総会,1985年
11. 「乳がん患者の出生季節と出産歴」(筆頭発表者),第56回日本衛生学会総会,1986年
12. 「永久歯の萌出型による体格及び経験的諸特性の比較」(共同発表者),第56回日本衛生学会総会,1986年
13. 「大腸がん患者の家族歴について」(共同発表者),第57回日本衛生学会総会,1987年
14. 「大腸がん患者の出生季節について」(筆頭発表者),第57回日本衛生学会総会,1987年
15. 「発育・発達の経過と生活経験の地域差について」(共同発表者),第52回日本民族衛生学会総会,1987年
16. 「園児の永久歯の萌出型による身体特性の比較」(共同発表者),第46回日本公衆衛生学会総会,1988年
17. 「永久歯の萌出型による身体的特性の変化 - 1986年度調査」(共同発表者),第58回日本衛生学会総会,1988年
18. 「永久歯萌出型の変化に関連した顔面頭蓋計測値と乳歯のう触状態」(筆頭発表者),第58回日本衛生学会総会,1988年

追悼 中尾寛子教授

19. 「園児の永久歯萌出型における最近 5 年間の動向」(共同発表者),第 47 回日本公衆衛生学会総会,1988 年
20. 「園児の永久歯萌出とう歯保有における最近の動向」(共同発表者),第 53 回日本民族衛生学会総会,1988 年
21. 「癌と血液型」(共同発表者),第 54 回日本民族衛生学会総会,1989 年
22. 「小地域健康福祉ネットワークの形成 - 健康福祉ボランティアのエンパワーメント - 」(共同発表者),第 58 回日本公衆衛生学会総会,1999 年
23. 「高齢者福祉領域における社会福祉援助技術現場実習の構造(1) - 学生の実習前後の期待・意識の変化を中心にして」(共同発表者),第 51 回日本社会福祉学会全国大会,2003 年
24. 「高齢者福祉領域における社会福祉援助技術現場実習の構造(2) - ソーシャルワークとケアワークの関係を中心にして」(共同発表者),第 51 回日本社会福祉学会全国大会,2003 年
25. 「高齢者福祉領域における社会福祉援助技術現場実習の構造(3) - ソーシャルワークとケアワークの共通部分の検証を中心として」(共同発表者),第 52 回日本社会福祉学会全国大会、2004 年